

令和元年度 杏林大学 高校生対象 夏期集中アドバンスト・プレイスメント科目 実施要項

〈高校生対象 夏期集中アドバンスト・プレイスメント科目とは〉

杏林大学に入学後に正規の単位が認定される「アドバンスト・プレイスメント制度」による高校生向けの夏期集中科目です。また、協定大学（※）へ入学した場合も単位認定の可能性がります。

※〈協定大学〉 桜美林大学、創価大学、共愛学園前橋国際大学

記

- 〈単位認定〉 選択した科目においてすべての授業に出席し、合格と認められた者にはアドバンスト・プレイスメント制度により単位を認定します。科目等履修生扱いとなります。
- 〈対象者〉 高等学校・中等教育学校に在学している高校生（保護者の承認が必要です）
- 〈開講期間〉 令和元年8月19日（月）～令和元年8月22日（木）のうち、受講選択した期間
- 〈履修科目〉 別紙の時間割、シラバスをご確認ください。
- 〈履修料〉 無料
- 〈保険加入〉 科目等を履修するための杏林大学までの通学、および科目等において学内活動・学外活動する際の傷害・賠償保険は、所属高等学校または自らの責任で加入してください。
- 〈履修場所〉 杏林大学井の頭キャンパス 〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
※履修教室については別紙の時間割をご確認ください。
※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 〈応募方法〉 次の書類を杏林大学 高大接続推進室宛に郵送またはFAXにて提出してください。
①「高校生対象 夏期集中アドバンスト・プレイスメント科目履修申込書」
② 履修科目選択リスト（保存用③は控えとして各自保存願います）
- 〈応募締切〉 令和元年8月7日（水）必着
- 〈郵送・FAX先〉 〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
杏林大学 井の頭キャンパス 高大接続推進室
FAX：0422-47-8056
- 〈お問い合わせ先〉 杏林大学 井の頭キャンパス 高大接続推進室
TEL：0422-47-8000 E-mail：koudai@ks.kyorin-u.ac.jp
担当： 青柳、安達

令和元年度 杏林大学 高校生対象
夏期集中アドバンスト・プレイスメント科目 履修申込書

記入日	令和元年	月	日
フリガナ			性別
氏名			男・女
生年月日	平成	年	月 日 (歳)
高等学校	高等学校 学年 組		
自宅住所	〒		
自宅電話番号		個人Eメール	
受講動機			

緊急連絡先	フリガナ	
	氏名	本人との関係 ()
	電話番号	
保護者記入欄	<p>ご署名・ご捺印をお願いします。</p> <p>「杏林大学 高校生対象 夏期集中アドバンストプレイスメント科目」の 科目履修を承諾します。</p> <p>令和元年 月 日</p> <p style="text-align: right;">続柄</p> <p>保護者氏名 (印) (続柄)</p>	

<申込締切> **令和元年8月7日(水) 必着**

<提出先> ※郵送またはFAXにてご提出ください。

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

杏林大学 高大接続推進室

FAX : 0422-47-8056

令和元年度 杏林大学 高校生対象 夏期集中アドバンスト・プレースメント科目 履修科目選択リスト

履修希望科目を下記の科目 A, B, C, D, E, F から選び、選択枠の中に○印をつけてください。複数選択も可能です。

時間割とシラバス(授業内容)は別紙をご覧ください。

氏名 _____

学校名 _____

学部	単位数	科目	選択○	8/19(月)	8/20(火)	8/21(水)	8/22(木)
総合 学部 政策	2 単 位	<科目A> 近現代史と現代社会		1限～4限	1限～4限	1限～4限	1限～3限
				D105教室	D105教室	D105教室	D105教室
保健 学部	1 単 位	<科目B> 基礎生物学		1限～2限	1限～2限	1限～2限	/
				A106教室	A106教室	A106教室	
		<科目C> 基礎化学		1限～2限	1限～2限	1限～2限	/
				A107教室	A107教室	A107教室	
		<科目D> 基礎物理学		3限～4限	3限～4限	3限～4限	/
				A108教室	A108教室	A108教室	
		<科目E> 基礎数学		3限～4限	3限～4限	3限～4限	/
				A109教室	A109教室	A109教室	
外国 語 学 部	2 単 位	<科目F> 目的別英語演習		1限～4限	1限～4限	1限～4限	1限～3限
				E101教室	E101教室	E101教室	E101教室

1 限	09 : 00 ~ 10 : 30
2 限	10 : 40 ~ 12 : 10
3 限	13 : 00 ~ 14 : 30
4 限	14 : 40 ~ 16 : 10
5 限	16 : 20 ~ 17 : 50

<申込締切>
令和元年8月7日(水)必着

<提出先>
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
杏林大学 高大接続推進室
FAX: 0422-47-8056

令和元年度 杏林大学 高校生対象 夏期集中アドバンスト・プレイズメント科目 履修科目選択リスト

履修希望科目を下記の科目 A, B, C, D, E, F から選び、選択枠の中に○印をつけてください。複数選択も可能です。

時間割とシラバス(授業内容)は別紙をご覧ください。

氏名 _____

学校名 _____

学部	単位数	科目	選択○	8/19(月)	8/20(火)	8/21(水)	8/22(木)
総合 学部 政策	2 単 位	<科目A> 近現代史と現代社会		1限～4限	1限～4限	1限～4限	1限～3限
				D105教室	D105教室	D105教室	D105教室
保健 学部	1 単 位	<科目B> 基礎生物学		1限～2限	1限～2限	1限～2限	/
				A106教室	A106教室	A106教室	
		<科目C> 基礎化学		1限～2限	1限～2限	1限～2限	/
				A107教室	A107教室	A107教室	
		<科目D> 基礎物理学		3限～4限	3限～4限	3限～4限	/
				A108教室	A108教室	A108教室	
		<科目E> 基礎数学		3限～4限	3限～4限	3限～4限	/
				A109教室	A109教室	A109教室	
外国 語 学 部	2 単 位	<科目F> 目的別英語演習		1限～4限	1限～4限	1限～4限	1限～3限
				E101教室	E101教室	E101教室	E101教室

1 限	09 : 00 ~ 10 : 30
2 限	10 : 40 ~ 12 : 10
3 限	13 : 00 ~ 14 : 30
4 限	14 : 40 ~ 16 : 10
5 限	16 : 20 ~ 17 : 50

<申込締切>

令和元年8月7日(水)必着

<提出先>

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

杏林大学 高大接続推進室

FAX: 0422-47-8056

夏期集中アドバンスト・プレイズメント科目 時間割

学部	＜科目A＞ 総合政策学部 2単位				＜科目B＞ 保健学部 1単位			＜科目C＞ 保健学部 1単位		
科目名 (教員名)	近現代史と現代社会 (岡村裕教授・糟谷崇准教授・高田京子准教授 半田英俊准教授・藤原究准教授・尾崎愛美講師)				基礎生物学 (田中浩輔教授)			基礎化学 (岡田洋二教授)		
日程	1日目	2日目	3日目	4日目	1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目
	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月22日(木)	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)
1限 9:00～10:30	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング
担当教員	半田	藤原	高田	岡村	田中	田中	田中	岡田	岡田	岡田
教室	D105	D105	D105	D105	A106	A106	A106	A107	A107	A107
2限 10:40～12:10	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング
担当教員	半田	藤原	高田	岡村	田中	田中	田中	岡田	岡田	岡田
教室	D105	D105	D105	D105	A106	A106	A106	A107	A107	A107
昼食										
3限 13:00～14:30	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング						
担当教員	糟谷	尾崎	岡村	岡村						
教室	D105	D105	D105	D105						
4限 14:40～16:10	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング							
担当教員	糟谷	尾崎	岡村							
教室	D105	D105	D105							

学部	＜科目D＞ 保健学部 1単位			＜科目E＞ 保健学部 1単位			＜科目F＞ 外国語学部 2単位			
科目名 (教員名)	基礎物理学 (山田慎教授)			基礎数学 (吉田清隆准教授)			目的別英語演習 (稲垣大輔教授、岩本和良教授、倉林秀男准教授)			
日程	1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目	4日目
	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月22日(木)
1限 9:00～10:30							スピーキング①	ライティング①	リーディング①	総合演習①
担当教員							岩本	稲垣	稲垣	稲垣
教室							E101	E101	E101	E101
2限 10:40～12:10							スピーキング②	ライティング②	リーディング②	総合演習②
担当教員							岩本			
教室							E101	E101	E101	E101
昼食										
3限 13:00～14:30	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	スピーキング③	リスニング①	リーディング③	総合演習③
担当教員	山田	山田	山田	吉田	吉田	吉田	倉林	稲垣	稲垣	稲垣
教室	A108	A108	A108	A109	A109	A109	E101	E101	E101	E101
4限 14:40～16:10	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	講義 または アクティブラーニング	スピーキング④	リスニング②	リーディング④	
担当教員	山田	山田	山田	吉田	吉田	吉田	倉林	稲垣	稲垣	
教室	A108	A108	A108	A109	A109	A109	E101	E101	E101	

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

科目A	令和元年 8 月 19 日 (月) ~22 日 (木) 9:00 ~ 16:10 2 単位
開講開始年度	2019
授業コード	(記入無用)
担当教員	岡村裕教授、糟谷崇准教授、高田京子准教授、半田英俊准教授、藤原究准教授、尾崎愛美講師
科目	近現代史と現代社会
授業概要 (必須)	現代の社会問題を理解・分析していくためには、過去の歴史的な経緯を踏まえ、また、世界に視野を広げていくことが重要です。このような視点から、本講義では、わが国及び世界において、理解し、また考察すべき重要な問題を取り上げていきます。近現代史の基礎を理解してもらい、それを基礎に現代社会の問題を考えていきたいと思えます。もちろん、高校生の方々を対象とする講座です。初歩から丁寧に説明していきます。また、興味を持ってもらうために、具体的な事例を多く取り上げ、ときには具体的な問題等を利用した演習を取り入れていくつもりです。
到達目標 (必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学系学部の学習の基礎を修得する。 ・問題点の理解・分析の手法を実践的に理解することを目指す。
授業計画 (必須)	<p>8 月 19 日(月)</p> <p>第 1 回 「明治維新」(担当：半田英俊) 幕末における対外的な思想と国内的な思想はいかなるものであったのか。本章では、これらの思想をふまえて、明治維新前後の政治的動向について論ずる。</p> <p>第 2 回 「日本の近代化政策」(担当：半田英俊) 新たに発足した明治政府は、富国強兵、殖産興業を旗印として、欧米列強に追いつこうとしていた。本章では、明治政府の近代化政策がいかなるものであったのかを論ずる。</p> <p>第 3 回 「情報化の歴史」(担当：糟谷崇) 1960 年代以降のコンピュータ発達に伴う社会の変化を、コンピューティング・ソフトウェア開発の歴史とその普及プロセスから紐解く。</p> <p>第 4 回 「AI・IoT・ビックデータの時代」(担当：糟谷崇) AI・IoT・ビックデータの時代において、より人間らしく生きるために、これらの技術的な領域と人間的な領域の両者について理解する。</p> <p>8 月 20 日(火)</p> <p>第 5 回 「近現代史と都市のあり方」(担当：藤原究) 近現代における都市政策と土地利用への規制などについて紹介しながら、今後のまちづくりと法制度のあるべき姿について論じる。</p> <p>第 6 回 「近現代史と環境問題」(担当：藤原究) 産業の発展と同時に様々な環境への影響が起こっていく中、公害を中心とした環境紛争が現代の環境問題へとどのように展開していくのかについて論じる。</p>

	<p>第7回 「大日本帝国憲法の制定過程」(担当：尾崎愛美) 明治政府はなぜ憲法の制定に至ったのか。当時の国際情勢や国内の背景事情を理解しつつ、大日本国憲法制定の理由を把握する。</p> <p>第8回 「日本国憲法の概要」(担当：尾崎愛美) ポツダム宣言から日本国憲法の施行に至るまでの約2年間の国内外の動きを追った上で、日本国憲法の概要を理解する。</p> <p>8月21日(水)</p> <p>第9回 「企業形態の変化と会計の役割」(担当：高田京子) 明治時代から現代までの、日本の企業形態の変化を概観するとともに、企業の自己説明たる会計が果たす役割を考える。</p> <p>第10回 「企業の不祥事と監査」(担当：高田京子) 近年の企業不祥事を取り上げ、会社は誰のものか、どのようなシステムによって信頼を得られるかを考察する。</p> <p>第11回 「企業と社会福祉」(担当：岡村裕) 企業と社会福祉との関係性について理解しながら、近現代におけるその関係性の変化および諸問題について考える。</p> <p>第12回 「経済と社会福祉」(担当：岡村裕) 近現代における日本の経済動向を概観しながら、経済と社会福祉および社会保障政策との関係について考える。</p> <p>8月22日(木)</p> <p>第13回 「政治と社会福祉」(担当：岡村裕) 政治と社会福祉との関係について政治哲学の視点から概観しながら、福祉国家あるいは福祉社会の意味について考える。</p> <p>第14回 「法律と社会福祉」(担当：岡村裕) 社会福祉関連の法律を概観しながら、社会福祉における法律の役割について考える。</p> <p>第15回 「国際関係と社会福祉」(担当：岡村裕) 国際社会における社会福祉関連の諸問題を取りあげ、その背景および解決策などについて考える。</p>
<p>準備学習 (必須)</p>	<p>いろいろな社会の問題に関心を持ってください。新聞やテレビ等のニュースに関心を持てると理想的です。</p>

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

テキスト (必須)	特に指定しません。必要に応じて、資料を配布します。
参考書	
評価方法 (必須)	授業への出席を基礎とします。
URL	
備考	

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

科目B	令和元年8月19日(月)～21日(水) 9:00～12:10 1単位
開講開始年度	2019
授業コード	(記入無用)
担当教員	田中浩輔教授
科目	基礎生物学
授業概要 (必須)	ヒトは、他の生物にはない独自の社会を形成し生活を営んでいる。しかし、生物種としてみれば、地球環境に生活するその他の生物共通のしくみを持っている。本科目では、生物種に共通する個体の基本的な構造と機能を解説し、生命活動のメカニズムのアウトラインを学ぶ。さらに他の生物など環境とのかかわりあいについて学ぶ。
到達目標 (必須)	<p><一般目標> すべての生命活動基礎となるメカニズムの基礎知識を習得し、様々な生命現象や病気のメカニズムを知ることへの関心を深めることを目的とする。</p> <p><個別目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個体を構成する各器官のはたらき、特に腎機能、免疫機構、内分泌機能について説明ができる。 2. 生命の基本単位である細胞について、主な構造と機能を説明できる。 3. 遺伝情報を担うDNAの構造、複製、分配のしくみを説明できる。 4. 遺伝情報どのように発現するのかその分子機構および基本的な遺伝子技術説明できる。 5. 個体発生における文化のしくみと遺伝子とのかかわりを説明できる。 6. 地球環境でのヒトの位置づけを理解できる。
授業計画 (必須)	<p>第1回 生物個体の構成と体内環境の維持 主にヒトを例にとり、個体を構成する要素である組織、器官について学ぶ。特に、生理機能を支える腎機能、免疫機構、内分泌機能を中心に取り上げる</p> <p>第2回 生命の基本単位である細胞とその構造 生命の基本単位である細胞内部構造のアウトラインと自己と外界との境界を構成する細胞膜について学ぶ。生命活動を支えるエネルギー合成系のミトコンドリアと葉緑体について学ぶ。さらに両者の共通性から細胞内器官の起源を解説する。細胞内部での物質の合成や輸送系である小胞体とゴルジ体の構造と機能について学ぶ。</p> <p>第3回 遺伝子と遺伝情報の複製 核内に存在する遺伝情報の本体であるDNAの構造について学ぶ。また細胞分裂のしくみと遺伝情報の複製・分配のしくみについて学ぶ。</p> <p>第4回 遺伝情報の発現 DNA分子が持つ遺伝情報がどのように発現していくのか、転写と翻訳の過程を学ぶ。 さらに遺伝子組み換え技術の発展から、遺伝情報の書き換えが可能となってきた。この技術と人間生活に及ぼす影響について学ぶ。</p> <p>第5回 個体発生と遺伝子 1個体が1個の細胞から形成されていく過程をモデル動物の発生を追いながら学ぶ。さらに形態形成とその元になる遺伝子発現との関連を学ぶ。</p> <p>第6回 環境と生物 生物は、常に外界との相互作用によって生活を営んでいる。同種類の個体間どうしの関係について学ぶ。多様な生物が共存する生態系についてその構造を学ぶ。さらに多様な生物が育まれる環境の破壊が生命活動にどのような影響を起こすのか「環境」の問題について考える。</p>
準備学習(必須)	高校「生物基礎」の教科書に目を通しておくこと。
テキスト(必須)	各回ともプリント等資料を配布する。
参考書	
評価方法(必須)	確認小テストおよび授業時の質問に対する解答等を評価する。
URL	
備考	

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

科目C	令和元年8月19日(月)～21日(水) 9:00～12:10 1単位
開講開始年度	2019
授業コード	(記入無用)
担当教員	岡田洋二教授
科目	基礎化学
授業概要 (必須)	「化学基礎」「化学」において大学受験で頻出されている分野—酸と塩基の反応、気体の性質、酸化還元反応、有機化学—について、演習問題を解きながら講義を行い、理解を深めてもらう。
到達目標 (必須)	センター試験レベルの化学の問題が解けるようにする。
授業計画 (必須)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 酸と塩基の反応 酸塩基反応の基礎を解説したのち、中和滴定に関する演習問題を解きながら理解を深める。 2. 気体の性質(1) 気体の性質に関して解説したのち、演習問題を解きながら理解を深める。 3. 気体の性質(2) 気体の状態方程式について解説したのち、演習問題を解きながら理解を深める。 4. 酸化還元反応(1) 酸化還元の定義を解説したのち、酸化還元滴定に関する演習問題を解きながら理解を深める。 5. 酸化還元反応(2) 酸化還元反応を中心に解説を行い、電気分解に関する演習問題を解きながら理解を深める。 6. 有機化学 有機化合物の分離操作を中心に、演習問題を解きながら理解を深める。
準備学習 (必須)	関連する項目について、高校教科書「化学基礎」「化学」に予め目を通しておくこと。
テキスト (必須)	毎回、プリントを配布する。
参考書	
評価方法 (必須)	授業内容に対する疑問・質問等など、積極性を評価する。
URL	
備考	

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

科目D	令和元年8月19日(月)～21日(水) 13:00～16:10 1単位
開講開始年度	2019
授業コード	(記入無用)
担当教員	山田慎教授
科目	基礎物理学 (微分・積分を使った物理学)
授業概要 (必須)	<p>高校の教科書では、平均の速度や平均の加速度から極限を考えて「瞬間」の速度や「瞬間」の加速度を扱っているが、これらは変位の微分であり、速度の微分である。また、加速度を使った運動方程式は、変位の微分や速度の微分を使って表される微分方程式である。更に、電磁気学においても、電流は電気量の時間変化であるし、また、交流におけるコンデンサやコイルの応答にも微分・積分の知識は非常に有用である。このように、物理現象をきちんと理解するためには微分、積分が欠かせない。本講義では高校における数学、物理の垣根を越え、数学的知識をフル活用して物理学の本質的な理解を目指す。</p>
到達目標 (必須)	<p>力学、電磁気に関する物理現象について、微分方程式を用いて記述できる。 微分方程式の解を導くことができる。</p>
授業計画 (必須)	<p>第1-2回 数学における微分、積分と物理学における微分、積分の利用について説明する。 第3-4回 自由落下や斜方投射、空気抵抗のある場合の落下など、いろいろな運動について微分方程式を用いた記述とその解について説明する。 第5回 力学と電磁気学において、微分方程式におけるパラメータの物理現象との対応(類似性)について説明する。 第6回 抵抗、コンデンサ、コイルを接続した交流回路について、微分方程式を用いた記述とその解について説明する。</p>
準備学習 (必須)	特になし
テキスト (必須)	プリント等資料配布
参考書	高校の教科書の巻末などに、発展として、微分、積分に関する記述があれば、目を通しておくことを勧める。
評価方法 (必須)	授業に対する積極性と小テストにより評価する。
URL	
備考	

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

科目 E	令和元年 8 月 19 日 (月) ~ 21 日 (水) 13:00 ~ 16:10 1 単位
開講開始年度	2019
授業コード	(記入無用)
担当教員	吉田清隆准教授
科目	基礎数学
授業概要 (必須)	高等学校の数学 I および数学 A では様々な単元を学んだが、この講義ではその中でも「数」「関数」「データの分析」の 3 つのテーマを取り上げ、少し掘り下げて学ぶ。 高等学校の授業内容のうちで、教科書の勉強だけでは、数学をはじめとする大学の教科を学ぶために不足すると思われる事柄を補足し、その応用を示す。
到達目標 (必須)	数学をはじめとする大学の教科を学ぶための基礎知識を身近なものにする。
授業計画 (必須)	1 日目 「数」について 整数、有理数、実数、複素数などの「数」について、これらの定義を見直し、その性質および応用について学ぶ。 2 日目 「関数」について 関数の一般論を少し説明し、2 次関数、三角関数を通して関数の取り扱い方を説明する。さらに、これらの応用を示す。 3 日目 「データの分析」について 行列 (数を縦と横にマトリックス状に配列したもの) の基本演算について学ぶ。さらに、行列演算を用いて、簡単なデータ分析を行う。
準備学習 (必須)	高等学校の数学 I および数学 A の内容を復習しておくこと。
テキスト (必須)	プリントを配布する。
参考書	
評価方法 (必須)	授業に積極的に参加しているか、演習問題を解けるか等を総合的に評価する。
URL	
備考	

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

科目F	令和元年8月19日(月)～22日(木) 9:00～16:10 2単位
開講開始年度	2019
授業コード	(記入無用)
担当教員	稲垣大輔教授、岩本和良教授、倉林秀男准教授
科目	目的別英語演習
授業概要 (必須)	<p>高等学校学習指導要領における英語教育の抜本的改革を踏まえ、2020年度より「大学入学共通テスト」が実施されることになりました。文部科学省は、英語の試験については、「4技能評価を導入し、外部の資格・検定試験を活用すること」を発表しています。その活用には、大学入試センターが「大学入試英語成績提供システム」を設け、参加要件を満たすことが確認された資格・検定試験について、受験生からセンターへの成績送付の依頼があった回の成績を、センターが一元的に集約し、要請のあった大学等に対し提供するものとされました。</p> <p>本授業では、参加要件を満たすと確認された英検において、高校卒業程度として設定された2級の問題演習を通して、スピーキング、ライティング、リスニング、リーディングの4技能の向上を目指します。</p>
到達目標 (必須)	英検2級以上の英語力の獲得
授業計画 (必須)	<p>第1日：8月19日(月)</p> <p>第1回 スピーキング①：イントネーションと文ストレス (岩本 和良 教授) 英検2級面接における問題カードの音読演習を通じて、自然な英語スピーキング力を身につけます。</p> <p>第2回 スピーキング②：イントネーションと文ストレス (岩本 和良 教授) 英検2級面接における問題カードの音読演習を通じて、自然な英語スピーキング力を身につけます。</p> <p>第3回 スピーキング③：社会性のある話題についてのやりとり (倉林 秀男准教授) 英検2級面接における問題カードのパスセージ・イラストの質問応答、自分の意見を述べる問題演習を通じて、社会的な英語スピーキング力を身につけます。</p> <p>第4回 スピーキング④：社会性のある話題についてのやりとり (倉林 秀男 准教授) 英検2級面接における問題カードのパスセージ・イラストの質問応答、自分の意見を述べる問題演習を通じて、社会的な英語スピーキング力を身につけます。</p> <p>第2日：8月20日(火)</p> <p>第5回 ライティング①：社会性のある話題についてのライティング (稲垣 大輔 教授) 英検2級筆記試験におけるライティング問題演習を通して、社会性のある話題についての英語ライティング力を身につけます。</p> <p>第6回 ライティング②：社会性のある話題についてのライティング (稲垣 大輔 教授) 英検2級筆記試験におけるライティング問題演習を通して、社会性のある話題についての英語ライティング力を身につけます。</p> <p>第7回 リスニング①：社会性のある内容を理解するリスニング (稲垣 大輔 教授) 英検2級筆記試験におけるリスニング問題演習を通して、社会性のある話題について理解する英語リスニング力を身につけます。</p> <p>第8回 リスニング②：社会性のある内容を理解するリスニング (稲垣 大輔 教授) 英検2級筆記試験におけるリスニング問題演習を通して、社会性のある話題について理解する英語リスニング力を身につけます。</p>

夏期集中アドバンストプレイスメント科目

	<p>第3日：8月21日（水）</p> <p>第9回 リーディング①：社会性のある内容を理解するリーディング（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級筆記試験におけるリーディング問題演習を通して、社会性のある話題について理解する英語リーディング力を身につけます。</p> <p>第10回 リーディング②：社会性のある内容を理解するリーディング（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級筆記試験におけるリーディング問題演習を通して、社会性のある話題について理解する英語リーディング力を身につけます。</p> <p>第11回 リーディング③：社会性のある内容を理解するリーディング（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級筆記試験におけるリーディング問題演習を通して、社会性のある話題について理解する英語リーディング力を身につけます。</p> <p>第12回 リーディング④：社会性のある内容を理解するリーディング（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級筆記試験におけるリーディング問題演習を通して、社会性のある話題について理解する英語リーディング力を身につけます。</p> <p>第4日：8月22日（木）</p> <p>第13回 総合演習①：英検 2 級模擬試験（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級の過去問題の問題演習を通して、社会生活に必要な英語を理解し、また使用することができる能力を身につけます。</p> <p>第14回 総合演習②：英検 2 級模擬試験（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級の過去問題の問題演習を通して、社会生活に必要な英語を理解し、また使用することができる能力を身につけます。</p> <p>第15回 総合演習③：英検 2 級模擬試験（稲垣 大輔 教授） 英検 2 級の過去問題の問題演習を通して、社会生活に必要な英語を理解し、また使用することができる能力を身につけます。</p>
準備学習 (必須)	毎回の授業で扱った内容をしっかり復習すること。
テキスト (必須)	事前に下記教科書を各自購入して、初回の授業に必ず持参するようにして下さい。 『英検 2 級総合対策教本（改訂版）』旺文社
参考書	
評価方法 (必須)	平常点（授業への積極的な参加）100%で評価します。
URL	
備考	